

日本第四紀学会 2011 年度 学術賞受賞者講演会(第 1 回)・シンポジウム

主催：日本第四紀学会

共催：奈良女子大学、奈良女子大学共生科学研究センター、奈良女子大学古代学学術研究センター

期日：2012 年 1 月 21 日(土) 13:00-17:10

(参加費無料、申し込み不要)

会場：奈良女子大学

【日本第四紀学会 2011 年度 学術賞受賞者講演会】

13:00-13:45 総合研究棟(文学系)S棟2階S235 号室

学術賞受賞者：前田 保夫 会員

「堆積物と地形から読み取る
完新世の海水準変動に関する研究」

【シンポジウム】

ヒトと自然の相互関係を読む：縄文時代から古代まで

14:00-17:10 総合研究棟(文学系)S棟2階S235 号室

(世話人) 宮路淳子 (奈良女子大学)・高田将志 (奈良女子大学)

近年の環境や環境問題に対する社会の意識の高まりには目を見張るものがあるが、考古学や第四紀学の分野では、かねてから人間と環境の相互関係、とくにヒトと自然の相互関係について強く意識されてきた。そこで、両者の相互関係について、最近の研究成果と将来に向けた研究課題を俯瞰すべく本シンポジウムを企画した。ヒトと自然の相互関係を読むためには、本来、対象となる研究テーマや時代が多岐におよぶことになるが、今回は、日本第四紀学会 2011 年学術賞受賞者講演(第 1 回)のテーマと関係の深い、縄文時代から古代までを中心に取り上げる。当日は、当該分野の研究者はもとより、この分野の研究に興味を持つ学生、隣接分野の研究者、あるいは関心をお持ちの一般の方々などに向けて、広く、近年の新しい研究成果について紹介していただくとともに、中・長期的な今後の研究課題についても議論を深めたいと考えている。

14:00-14:05 開会あいさつ(小野 昭 日本第四紀学会副会長)

14:05-14:45 金原 正明(奈良教育大学)：縄文・弥生の二次林と古墳・古代の二次林

14:45-15:25 丸山 真史(独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所)：

先史時代の動物利用の変化とその意義—奈良盆地・大阪平野を中心に—

休憩

15:45-16:25 光石 鳴巳(奈良県立橿原考古学研究所)：奈良盆地南部における水田経営の開始と自然環境—橿原市萩之本遺跡を中心に—

16:25-17:05 松田 真一(天理大学附属天理参考館)：奈良盆地における定住社会の生業戦略

17:05-17:10 閉会あいさつ

【シンポジウム懇親会】17:20-18:50 奈良女子大学総合研究棟(文学系S棟)1階ラウンジ

(懇親会費：2,000円)

・準備の都合上、懇親会参加希望の方は平成 24 年 1 月 18 日(水)までに下記へ御一報いただけると大変助かります。

【問合せ・連絡先】高田将志(奈良女子大学) e-mail: takada@cc.nara-wu.ac.jp 電話：0742-20-3323



奈良女子大学：近鉄奈良駅から徒歩 5 分

近鉄線京都駅⇄近鉄奈良駅(特急 35 分、急行 50 分)